

日本鉄鋼協会記事

理 事 会

第1回理事会 開催日：4月3日。出席者：松下会長
ほか 50 名。

1. 金属学会との連絡懇談会報告
 - ・秋季講演大会 9月27～29日 北海道大学
 - ・来春の講演大会 4月1～3日 東京大学
 - ・来秋の講演大会 10月4～6日 秋田大学
2. 一般表彰ならびに特別表彰選考委員会委員委嘱の件

【委員長 松下会長】 小島，中村，田畑各副会長，中野，作井各前会長，加藤編集，佐伯企画，津谷研究各委員長，角南理事，伊木共研幹事長。

上記のとおり委嘱することを決定。

研究委員会

第2回委員会 開催日：3月30日。出席者：津谷委員長，ほか 13 名。

1. 講演「創造科学技術について」 新技術開発事業団 創造科学技術推進室長 千葉玄弥氏
新技術開発事業団の機能と活動について，創造科学技術推進事業，新技術の委託開発と普及等詳細な講演をしていただいた。
2. 第103回春期講演大会について
3. その他
 - (1) 湯川記念資金による事業について
 - (2) スラッグの国際会議開催について

編集委員会

第1回編集運営委員会 開催日：4月16日。出席者：加藤委員長，ほか 17 名。

1. 著作権問題に関して，事務局からの報告に基づき対処のし方等が検討された。
2. 運営委員の新任，退任が報告・承認され，新任編集担当理事の担当分科会が決められた。
3. 各分科会の活動報告がなされた。

第2回和文会誌分科会 開催日：4月9日。出席者：加藤主査，ほか 15 名。

1. 20 件の論文審査報告がなされ，掲載決定 18 件，照会后掲載可 1 件，その他 1 件であった。
2. 「鉄と鋼」第 68 年第 10 号（8 月号）に論文 16 件，技術報告 1 件，掲載決定した。

第2回欧文会誌分科会 開催日：4月16日。出席者：中村主査，ほか 15 名。

1. 18 件の論文につき審査報告がなされ，掲載可 3 件，照会后掲載可 4 件，修正依頼 10 件，一旦返却 1 件であった。
2. 「鉄と鋼」以外の国内雑誌より，7 件の研究論文と 2 件の Research Note を勧誘することとなった。

共同研究会

製鋼部会

第81回部会 開催日：3月18～19日。出席者：山本部会長，ほか 118 名。開催地：住金・和歌山

1. 重点テーマ 「ブルーム・ピレット連铸鑄片の品質向上技術」発表件数 7 件
2. 自由議題 発表件数 13 件
連铸に関するもの 9 件 その他 5 件

特殊鋼部会

第67回部会 開催日：3月25～26日。出席者：藤原部会長，ほか 114 名。開催地：川鉄・千葉

1. 特別講演 「千葉製鉄所における特殊鋼の製造について」
2. 研究発表
 - (1) 高合金鋼（含ステンレス鋼）の精錬技術の改善について 4 件
 - (2) 取鍋精錬法における耐火物の問題点と対策 13 件
 - (3) 自由テーマ 6 件
3. 工場見学 川鉄・千葉 第1製鋼工場（溶解炉・K-BOP） 第3製鋼工場（No. 3 CC）

鋼管部会

第30回継目無鋼管分科会 開催日：3月4～5日。出席者：望月主査，ほか 85 名。開催地：鋼管・本社

1. 熱押冷率関係
 - (1) 共通議題 「冷間加工技術について」
 - (2) 自由議題 「熱間押出作業実態調査（故障・工具替休止の改善経緯と今後の動向）について」
2. マンネスマン関係
 - (1) 共通議題 「歩留り向上について」
 - (2) 自由議題 「エロンゲーターの操業技術と問題点」
3. 工場操業状況報告

第30回溶接鋼管分科会 開催日：3月11～12日。出席者：河野主査，ほか 126 名。開催地：大阪・住友クラブ

1. 電縫・鍛接管関係
 - (1) 電縫管議題 「NDI 設備について」
 - (2) 鍛接管議題 「鍛接管工場のコスト低減について」
2. 電弧溶接管関係
 - (1) ストレートシーム議題 「UOE 工場内，外注作業の管理と教育について」
 - (2) スパイラル議題 「二次加工内容の標準化推進について」
3. 工場操業状況報告

鉄鋼分析部会

第 67 回鋼中非金属介在物分析分科会 開催日: 3月24日. 出席者: 宮本幹事, ほか 16 名. 開催地: 協会会議室 1. 鋼中硫化物の抽出分離定量法について

計測部会

第 80 回部会 開催日: 3月10~11日. 出席者: 藤田部会長, ほか 164 名. 開催地: 川鉄・水島

議題

- | | | | |
|---------|------|------------|-----|
| 1. 製鉄関係 | 6 件 | 2. 製鋼関係 | 1 件 |
| 3. 圧延関係 | 11 件 | 4. エネルギー関係 | 1 件 |
| 5. 製品検査 | 7 件 | 6. 計測技術 | 4 件 |
| 7. その他 | 2 件 | | |

特定基礎研究会

第 9 回原料炭の基礎物性部会 開催日: 2月26日. 出席者: 木村部会長, ほか 21 名. 今回は最終部会である.

- 議題 1. 「ヨークス破壊機構」
2. 「石炭のキャラクタリゼーション」
3. 「ヨークス化機構の基礎研究」

第 15 回スラグの有効利用に関する基礎研究部会 開催日: 2月26日. 出席者: 松下部会長, ほか 22 名. 開催地: 川鉄・千葉

1. 報告書概要紹介
この部会をもつて, スラグの有効利用に関する基礎研究部会の活動は終了した.

標準化委員会

第 4 回機械構造用鋼管 JIS 改正原案作成分科会 開催日: 3月24日. 出席者: 田中主査, ほか 17 名.
1. 資料 No. 15 (STKM, STAM, STC 原案に対する意見) の審議
2. 資料 No. 16 (各委員の要望に対するコメント及び原案修正要望) の審議
3. 資料 No. 17 (JIS G3473 シリンダチューブ用鋼管) の審議

ISO 鉄鋼部会

第 10 回 SCI17 分科会 開催日: 3月11日. 出席者: 光島主査, ほか 13 名.

1. ISO 規格案に対する日本コメント検討
(1) 線材の寸法規定について
(2) 伸線用炭素鋼線材について
(3) 溶接棒用線材について
(4) ばね用鋼線について
(5) フェンス用亜鉛めつき鉄線及び線の亜鉛めつき規定について
2. 国際会議出席にあつての検討事項
3. 日本コメント作成の処理について

データシート部会

第 15 回破壊靱性データシート分科会 開催日: 3月25日. 出席者: 金沢主査, ほか 12 名.
最終案について執筆者が読み上げ, 審議を行い, 訂正

原稿を事務局へ提出することとなつた.

第 68 回特殊鋼分科会 開催日: 3月4日. 出席者: 石川主査, ほか 11 名.

1. JIS G4410 「中空鋼鋼材」改正原案について
2. JIS G4801 「ばね鋼鋼材」改正の中間報告
3. 炭素鋼の薄板に関する SC12 への対応について
4. JIS 機械的性質の熱処理条件について
5. JASO 改正に関する自工会情報について

第 86 回鋼管分科会 開催日: 3月19日 出席者: 丸岡主査, ほか 10 名.

1. STKM 原案修正の検討
2. STC について 3. STAM について

国際鉄鋼技術委員会

第 2 回委員会 開催日: 2月24日. 出席者: 石原委員長 ほか 10 名

昨年 11 月 23 日 Brussels で開催された IISI, TE-CHGO の WG について石原委員長より報告があつた.

材料研究委員会

第 45 回委員会 開催日: 2月18日. 出席者: 大橋委員長, ほか 11 名.

下記の研究報告があつた.

1. 溶接熱影響部の COD 特性におよぼす化学成分の影響 新日鉄・製品研
2. 溶接継手ボンド部の最小 COD 値の推定方法について 新日鉄・製品研
3. 浸炭層の破壊靱性に及ぼす Mo の影響 大同
4. 浸炭層の靱性に及ぼす諸因子の影響 大同

鉄鋼基礎共同研究会

第 18 回高炉内反応部会 開催日: 2月20日. 出席者: 大森部会長, ほか 23 名. 開催地: 鋼管・高輪クラブ

今回は最終部会であり, 以下について討論した.

1. 残された問題 2. 今後の進め方

第 19 回高温変形部会 開催日: 3月11日. 出席者: 田村部会長, ほか 25 名.

以下の研究報告が行われた. なお, 今回 (第 19 回) をもつて本部会の活動を終了した.

1. SUS 309 ステンレス鋼の熱間加工性 大同
2. 309 ステンレス鋼の熱間加工性の改善について 日本冶金
3. 耐熱合金の高温延性に及ぼす結晶粒径と析出の影響 川崎重工
4. マンネスマン穿孔による表面疵の変化 山陽特殊鋼

連続鋳造における力学的挙動部会

第 6 回部会 開催日: 2月19日. 出席者: 森部会長, ほか 24 名. 開催地: 新日鉄・新山谷寮

1. 割れ写真集WG報告
2. 割れに関する報告 2 件